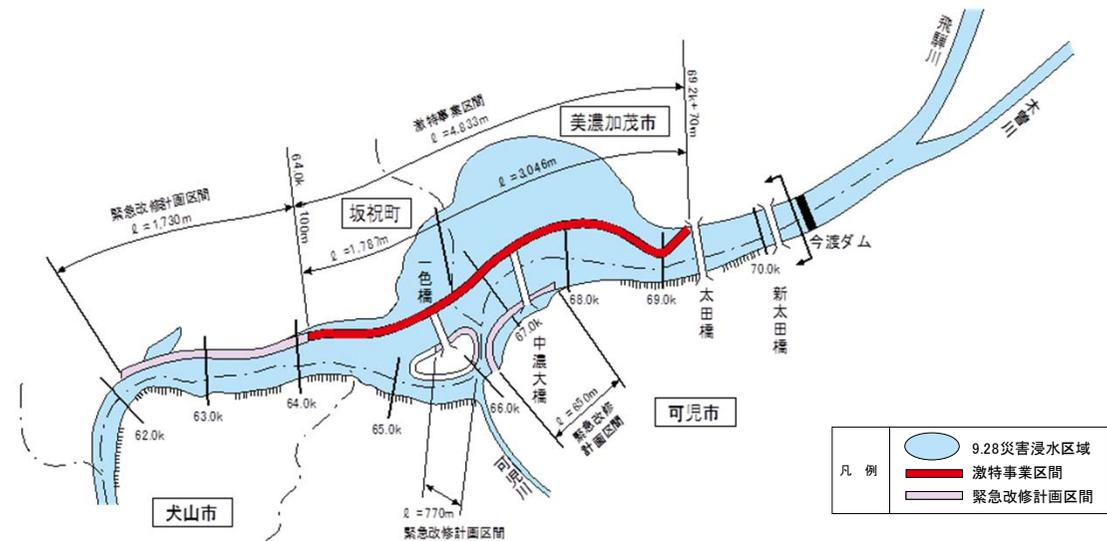


- 平成30年5月27日に開催された「平成30年度 木曾三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練」の展示ブースにて、今年、完成30周年を迎えた「木曾川美濃加茂・坂祝地区激甚災害特別緊急事業」を多くの方々に知って頂くため、パネルを展示しました。
- 当日は、訓練を見学しに来た一般の方々がブースに立ち寄り、防災に関する紹介パネルと合わせて、職員の説明に耳を傾けていました。



■木曾川美濃加茂・坂祝地区激甚災害特別緊急事業の概要



激特事業

延長 = 4,833m
 (美濃加茂市 延長 = 3,046m、坂祝町 延長 = 1,787m)
 昭和58年～昭和63年

緊急改修

延長 = 650m(可児市土田地区)
 延長 = 1,730m(坂祝町一色地区、取組地区、勝山地区)
 昭和58年～平成6年



- 「平成30年度 木曽三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練」では、近年の局地的な集中豪雨の頻発や、大型台風の襲来などのリスクに備えるため、防災関係機関が相互に連携した防災体制の確立を目的に、木曽三川における洪水被害、名古屋港における高潮被害を想定し、水防工法訓練、情報伝達訓練、救助・救護訓練等をタイムラインに沿って実践的に実施しました。

水防演習

開会式では、石井国土交通大臣や古田岐阜県知事、協全国水防管理団体連合会長にご挨拶を頂きました。



石井国土交通大臣



古田岐阜県知事



協全国水防管理団体連合会長



開会式の様子

■ 水防工法訓練



水防団による訓練
(畳張工)



水防団による訓練
(釜段工)



水防団による訓練
(月の輪工)

■ 関係機関との連携による総合的な訓練



岐阜市長及び瑞穂市長との
情報伝達訓練 (ホットライン)



自衛隊による
捜索・救助訓練



中学生の参加

来賓及び一般見学者を含む約2,000人が参加

展示(パネル・災害対策車両)

■ パネルの展示



■ 展示ブースでのパネル展示



■ 災害対策車両の展示



多くの参加者がパネル・災害対策車両を見学